

# 令和7年度 瀬谷地区センター事業計画書

## 1 施設設置目的を踏まえた管理運営計画

地域住民の自主的活動や相互交流の促進のため、区や地域各種団体と連携を図りながら、次に示す基本方針に基づき、地域に密着した運営に努めます。運営にあたっては、地区センターと老人福祉センターの複合館としての特徴を生かしつつSDGsを意識して取り組むとともに瀬谷区の基本目標「幸せが実感できる瀬谷づくり」向け、スタッフ全員が「チーム」となって、誰でもが利用しやすい施設となるように、「挨拶・声かけ」、「親身な対応」、「わかりやすい説明」を行い、利用者満足度の向上を図ります。

- ① 集う：地域の団体その他への日々の活動拠点の提供
- ② つながる：区民ニーズを反映した自主事業の実施と事後グループの支援、施設運営
- ③ 区との協働：瀬谷区との協働「子ども・青少年の育成」「健康増進・福祉の充実」「安全・安心のまちづくり」「魅力の創出・区民協働の推進」

## 2 地域特性、地域ニーズを踏まえた管理運営計画

瀬谷センターは、瀬谷区のほぼ中心に位置し、また交通の便の良さから瀬谷区の主要行事の活動拠点となっています。また、高齢者の利用が50%を超えるなど、センターの特徴を踏まえ、利用者、地域の方々のニーズに的確に応え、「集う、つながる、瀬谷センター」をモットーに施設の運営を進めます。

## 3 施設の安全性、安定的な維持管理計画

館長、副館長、スタッフを配置し、全ての時間帯において責任者を含めて4名以上が勤務し、館の円滑運営に努めます。運営にあたっては「正確・丁寧・公平・迅速」に、利用者の視点に立った、より質の高いサービスを提供します。

また、気持ちよく活動・交流できる施設を目指し、3つの基本方針を踏まえるとともに、「安全」「安心」「快適」な空間への取組を行うことで、築40年以上経過し老朽化する建物、設備の適切な維持、管理に努めます。

個人情報保護等について4つの規程、4つのルールとヒヤリハット事例の共有、定期的な点検指導、さらに研修を実施し、法及び条例の趣旨の周知と日々の事務における徹底を図ります。

緊急時対応については、6つのマニュアルと地域その他との連携により、日頃から防犯・防災その他の緊急時対応には万全を期するとともに、全スタッフや利用者にも参加していただく防災訓練を実施します。

## 4 利用者ニーズの把握、サービスの向上計画、利用促進計画

### 利用者ニーズの把握

利用者サービス第一を念頭に、把握した利用者ニーズや地域ニーズを実現させるために、柔軟な発想で迅速な対応と運営に反映することに努めます。

- ① 瀬谷センター委員会（瀬谷地区センター委員会）、利用者会議
- ② 利用者アンケート、自主事業後アンケート、区民意識調査
- ③ 地域住民、利用者との直接対話
- ④ 区と四半期ごとのモニタリング
- ⑤ 各所長会、協会連絡会
- ⑥ ホームページのお問い合わせフォーム、施設常設のご意見箱

## サービスの向上計画

「また来たい瀬谷センター」と思われるよう、職員・スタッフが一丸となって取り組んでいきます。

- ① 気持ち良く利用できるように、引続き入館時に検温できるようにするほか、消毒セットを用意するとともに、各部屋の使用前後の点検・清掃を徹底します。
- ② インターネット予約システムの利用拡大と未利用者へのきめ細かなサービスを実施、誰でもが利用できる施設とします。
- ③ ウェブアクセシビリティAAに準拠したホームページによりウェブサイトを利用するすべての人が空き部屋の確認や必要な情報を得ることできるよう内容充実と周知を図っていきます
- ④ 施設情報は、ホームページ、センターだより、施設内外の掲示板にタイムリーに発信します。
- ⑤ 未就学児の子育て利用促進事業として、幼児ルームの絵本や知育玩具の充実に取り組みます。
- ⑥ 地域の福祉団体と連携し、障害のある方が作った製品の販売による就労支援と飲食その他物販による利用者サービスの向上を図ります。
- ⑦ 安全性や利便性向上の観点から、引続き旧式用具の取扱いを見直し、現状に合った更新をしていきます。

## 利用促進計画

地域住民の自主的な活動をきっかけに、地域コミュニティの醸成、地域連帯意識の形成で、次の取組を通じて、利用促進を図ります。

- ① 2027年国際園芸博覧会（GREEN EXPO 2027）の機運醸成を図るため、行政・地域と共に事業・イベントに積極的に取り組みます。
- ② 団体の活性化のため、自主グループ立上げ支援やサークル紹介の活性化を図ります。
- ③ 利用者視点で「正確・丁寧・公平・迅速」な対応を図ります。
- ④ 施設の特徴（掲示や展示スペース）を生かして、地域や学校との交流・連携を図る。
- ⑤ 未登録団体・個人への活動場所のお試し提供を実施
- ⑥ よこはまシニアボランティアポイントの受け入れ施設として地域とのふれあいを深めます。

## 5 自主事業計画

利用者ニーズを的確に把握し、年齢、性別に偏らず幅広い層の利用者が興味、関心を持って参加できる魅力ある事業推進を図ります。また、区の目標達成に向けた4つの施策とSDGsを推進します。

- ・利用者アンケート内容や利用者との日常対話を大切にし、そこから生まれるニーズや関心が高いジャンルを反映した事業を計画します。令和7年度に計画している事業は、41事業(ワンパク事業含)開催します。
- ・「GREEN EXPO 2027」機運醸成の関連事業を9事業実施します。
- ・講師はできる限り地域で活動されている方に依頼します。
- ・自主事業の参加費は適正に算出し、参加しやすい料金設定にしています。特にこどもを対象としたワンパク事業での参加費は、参加しやすいように300円以下に設定しています。
- ・区内施設や地域団体、企業の特性を活かし、連携して新たな講座・イベントを企画・実施します。
- ・体育館でのクリスマスコンサートやロビーコンサートを開催し、施設に足を運んでいただくことで、新しい利用者の開拓を図ります。
- ・地域の文化祭でもある「瀬谷センターまつり」において、周知方法や飲食を楽しめるスペースを工夫し、施設の利用促進を図ります。
- ・複合館としての利点を生かし、子どもから高齢者までの異世代交流を推進する事業を老人福祉センターとの共催事業を計画します。
- ・夏休みは空いている部屋を小中学生の自主学習の場として開放します。
- ・ホームページからインターネットで講座申込ができる教室を継続してつくります。

令和7年度 瀬谷地区センター自主事業計画書

No	教室名	対象者	募集人数	開催期間	回数	予算(円)
1	karada整えるストレッチ	成人	50	4月～9月	10	80,000
2	リズムステップエクササイズ	成人	50	4月～9月	10	80,000
3	古典講座 枕草子	成人	20	4月～6月	6	48,000
4	【G】瀬谷区応援プログラム 地域の方と花の苗を植える	成人	15	4月	1	(15,000)
5	【G】～新体験～ エディブルフラワーで彩るデザート作り	成人	12	5月	1	(15,000)
6	片付けられる わたしに変わる	成人	14	5月	1	8,000
7	かな書道～和歌に挑戦～	成人	14	5月～6月	5	30,000
8	【G】手軽に楽しく色鉛筆画 ～花を描く～	成人	14	5月～7月	5	(31,000)
9	ヤクルト出前講座 腸 元気生活のすすめ	成人	15	6月	1	0
10	あなたの魅力を引き出す パーソナルカラー講座	成人	14	7月	1	8,000
11	【G】アロマ講座 アロマストーン作り	成人	14	7月	1	(10,000)
12	～和布クラフト～ ほっこり親子地蔵	成人	14	9月～10月	5	30,000
13	楽しく! ズンバ	成人	12	9月～10月	5	30,000
14	ボタニカル刺しゅう ～ニードルケース～	成人	20	9月～11月	5	30,000
15	ストレッチ	成人	50	10月～3月	10	80,000
16	エクササイズ	成人	50	10月～3月	10	80,000
17	陶芸 茶碗作り	成人	16	10月	1	10,000
18	料理講座 パンとお菓子作り	成人	12	11～1月	3	19,000
19	【G】アロマ講座 ～石けん作り～座学含む	成人	16	11月	1	(19,000)
20	【G】アロマ講座 ～スパイススプーンの製作～座学含む	成人	16	12月	1	(12,000)
21	ヤクルト出前講座 より良い睡眠のための健康管理	成人	15	12月	1	0
22	七宝焼き ～花模様のブローチ～	成人	12	12月	1	6,000
23	人物・物語で紐解く世界の歴史	成人	20	12月～2月	6	36,000
24	【G】季節のリース	成人	12	2月	1	(9,000)
25	【共催】 さわやかスポーツ体験 カローリング	どなたでも	20	7月	1	10,000
26	【共催】 瀬谷のまち歩き	どなたでも	15	12月	1	3,000
合 計					94	588,000

【G】2027年国際園芸博覧会機運醸成事業 (111,000)

### 令和7年度 瀬谷地区センター ワンパク自主事業計画

No	教室名	対象者	募集人数	開催期間	回数	予算(円)
1	親子で楽しむとっておきの時間 すきっぷす♪のおはなし会	乳幼児 と保護者	14組	5月～3月	9	36,000
2	サッカーボールと友達になろう！ 親子リフティング教室	小・中学生	20人	5月～6月	3	26,000
3	【G】GREENEXPO×ワンパク 池坊の本格華道体験	小・中学生	8人	5月	1	(31,000)
4	初心者から経験者までみんなで楽しむ 小中学生親子卓球教室	小・中学生	15人	6月・2月	2	19,000
5	GREEN EXPO×ワンパク 瀬谷産野菜でつくるパン①	小・中学生	12人	5月	1	16,000
6	GREEN EXPO×ワンパク 瀬谷産野菜でつくるパン②	小・中学生	12人	5月	1	15,000
7	科学捜査体験講座	小・中学生	12人	8月	1	16,000
8	いろいろな音とリズムを感じよう ♪ すきっぷす♪の音遊び	幼児と保護 者	15組	10月	1	7,000
9	【G】GREEN EXPO×ワンパク 季節の草花と遊ぶ	小・中学生	10人	11月	1	(11,000)
10	KIDS COOKING ～クリスマスケーキ①～	小・中学生	12人	12月	1	15,000
11	KIDS COOKING ～クリスマスケーキ②～	小・中学生	12人	12月	1	13,000
12	KIDS COOKING ～クリスマスケーキ③～	小・中学生	12人	12月	1	13,000
13	GREEN EXPO×ワンパク 季節の草花で遊ぶ	小・中学生	10人	2月	1	11,000
14	【共催】 瀬谷の街歩き	どなたでも	15	10月	1	1,000
15	【共催】 さわやかスポーツ体験！ポッチャ	どなたでも	20	8月	1	1,000
合 計					26	189,000

【G】2027年国際園芸博覧会機運醸成事業 (42,000)

### 令和7年度 瀬谷地区センター自主事業(共通)計画 (ニーズ対応費で対応)

	教室名	対象者	募集人数	開催期間	回数	
1	ロビーコンサート	どなたでも	自由参加	9月	1	30,000
2	瀬谷センターまつり	どなたでも	自由参加	11月	1	500,000
3	クリスマスコンサート&クリスマスおはなし会	どなたでも	自由参加	12月	1	120,000
4	ロビーコンサート	どなたでも	自由参加	3月	1	30,000
合 計					4	680,000

目標設定の視点	あ 計画内容及び運営目標 第34条第1項・第2項 第43条第1項・第4項	い 計画内容及び運営目標 に対する実績	う 今後の取組 (改善計画) 第34条第2項 第43条第4項	自己評価
利用者サービス	<p>事業計画書</p> <p>(2) ウ 公の施設としての管理</p>			第43条第1項
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者に公平な利用機会を提供するため、誰もが・いつでも・どこからでも予約できるWEB予約システムを適正に管理します</li> <li>・法律・関係条例・仕様書他コンプライアンスの順守及び「正確・丁寧・公平・迅速」な執行。地域からの信頼に応え、利用者一人ひとりに寄り添った地域とともに歩む瀬谷センターを目指します。</li> </ul>			
	<p>(4) エ 利用者ニーズの把握と運営への反映</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者ニーズは、利用者サービス第一を念頭に、6つの方法で把握した利用者ニーズや地域ニーズを実現させるために、柔軟な発想で迅速な対応と運営の反映に努めていきます。</li> </ul>			
	<p>(4) オ 利用者サービス向上の取組</p> <p>利用者サービスを基本姿勢として「また来たい瀬谷センター」と思われるよう、職員・スタッフが一丸となって取り組んでいきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な感染対策の継続実施</li> <li>・気持ち良く利用できるように、各部屋の使用前後の点検・清掃を徹底します。</li> <li>・図書コーナーの貸出・返却時に除菌ボックスによる本の除菌を引き続き実施します。</li> <li>・インターネット予約システムで、パソコンやスマートフォンで抽選申込・確認や空き部屋の確認・予約等利便性が大きく向上。また、デジタルサイネージによる予約状況の案内とデジタル広報を実施。</li> <li>・ウェブアクセシビリティAAに準拠したホームページの運用。ウェブサイトを利用するすべての人が利用しやすく必要</li> </ul>			A

	<p>な情報を提供しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設情報は、ホームページ、センターだより、施設内外の掲示板にタイムリーに発信します。</li> <li>・未就学児の子育て利用促進事業として、幼児ルームの絵本や知育玩具の充実に取り組みます。</li> <li>・地域の福祉団体と連携し、障害のある方が作った製品の販売による就労支援と飲食その他物販による利用者サービスの向上を図ります。</li> <li>・安全性や利便性向上の観点から、旧式用具等の取扱いを見直し、現状に合った更新をしていきます。</li> </ul>			
業務運営	<p><b>事業計画書</b></p> <p><b>(4) ア 設置理念を実現する運営内容</b></p> <p>地域住民の自主的な活動をきっかけに地域コミュニティの醸成、地域連帯意識の形成を図ります。</p> <p>「集う、つながる、瀬谷センター」をモットーに、地域の団体その他への日々の活動拠点の提供、区民ニーズを反映した自主事業の実施と事後グループ支援、センターまつりなどの各種イベントを通して、地域の交流の場を提供します。また、健康づくり体操や健全な青少年育成のための講座など、区の重点施策に関する自主事業を積極的に展開し、区との協力体制を築いていきます。</p>			
	<p><b>(4) イ 利用促進策</b></p> <p>センター委員会や利用者会議等での意見を踏まえ、利用しやすい施設運営を目指します。利用促進6項目を実践します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2027年国際園芸博覧会（GREEN EXPO 2027）の機運醸成を図るため、行政・地域と共に事業・イベントに積極的に取り組みます。</li> <li>・ロビーコンサートなどを開催し、施設に足を運んでいただくことで、新しい利用者の開拓を図ります。</li> <li>・自主グループの創設を支援、地域の相互交流の場を提供し、利用の促進を図っていきます。</li> <li>・未登録団体・個人への活動場所のお試し提供</li> <li>・令和6年度見込の8%増の128,000人の来館者を目標</li> </ul>			

	<p>とします。共同企画・地域の交流：協会他施設、地域の団体、他施設（区スポーツセンター）との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・よこはまシニアボランティアポイントの受け入れ施設として地域とのふれあいを深めます。</li> </ul>			
	<p><b>（４）キ 本市重要施策に対する取組</b></p> <p>公の施設の管理運営は政策目標を達成するための手法の一つとされており、横浜市中期計画の基本姿勢「SDGsの視点を踏まえた取組」「地域コミュニティの視点に立った課題解決」などを指定管理者として意識して施設の運営に取り組みます。</p> <p><b>【情報公開】</b> 市民の知る権利の確保と施設の管理運営に関し、市民に説明する責務と市民の的確な理解と批判の下、公正・公平に資することを目的とする、「瀬谷地区センター及び瀬谷和楽荘情報公開に関する規程」に基づき適切に対応します。</p> <p><b>【人権尊重】【障害者福祉政策】</b> 人権の尊重を施設運営の基本とし、利用される方々の立場を理解するとともに「一人ひとりの市民が互いに人権を尊重しあい、ともに生きる社会」の実現を目指して互いに補い合い、助け合って、センター全体が「チーム瀬谷センター」として取り組みます。</p> <p><b>【環境への配慮】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・脱炭素宣言（省エネ・エコ等）の取組：1日3回の館内巡回による温度等測定や不具合個所の早期発見、LED化やこまめな節電等による光熱水費の削減を図る。</li> <li>・3R行動の実践：廃棄物の減量化、資源化、適正処理</li> <li>・マイカー利用自粛への取組：情報提供媒体活用、申請書類等の活用による啓発</li> </ul> <p><b>【市内中小企業優先発注】</b> 市内経済の発展及び市民生活向上に寄与することを目的に、運営に係る各種委託等の発注は市内中小企業を優先し、市内中小企業を応援します。</p> <p><b>【その他重要施策課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「横浜市民読書活動推進計画」</li> </ul> <p>瀬谷区読書活動推進、瀬谷区読書スタンプ事業 読み聞かせボランティア等活動支援</p>			

<p>阿久和地区センター・4 コミスク・瀬谷センターによる読書スタンプラリーの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもログハウスへの図書の定期貸出</li> </ul>			
<p><b>(5) 自主事業計画</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「GREEN EXPO 2027」機運醸成の関連事業を業実施します。</li> <li>・利用者のニーズを的確に把握して、年齢・性別に偏らず幅広い層の利用者が興味・関心を持って参加できる魅力ある事業を展開します。</li> <li>・利用者アンケートや区民意識調査からニーズを捉え、参加希望や関心が高い「体操、学習、趣味、料理」の幅広いジャンルの事業を計画しています。また、利用者との日常対話を大切に、そこから生まれるニーズを捉え事業の企画に反映していきます。</li> <li>・講師はできる限り地域の方に依頼し、技術を持つ当施設のスタッフによる事業も開催します。</li> <li>・地域の子どもたちのための事業として趣向を凝らし、幼児・小中学生を対象に「ワンパク」事業を実施し、青少年の健全な育成に寄与します。</li> <li>・自主事業の参加費は適正に算出し、参加しやすい料金設定にしています。特にワンパク事業での参加費は、子どもたちが参加しやすいように 300 円以下に設定しています。</li> <li>・区の施設、地域の団体とも連携して講座の企画を実施、新たな講師の登用につなげています。</li> <li>・複合館としての利点を生かし、子どもから高齢者までの異世代交流を推進する老人福祉センターとの共催事業を実施します。</li> <li>・夏休みは空いている部屋を小中学生の自主学習の場として開放します。</li> <li>・講座の申込がホームページからインターネットでできるようにします。</li> </ul>			
<p><b>(6) 施設及び設備の維持管理計画</b></p> <p>地域の方に安全で快適な空間を提供し、気持ちよく活動、交流できる施設、設備の維持管理を目指します。</p>			

	<p>築 40 年を過ぎ、老朽化する設備の計画的な更新及び長寿命化が重要であると共に、省エネ化を推進して行くため、6つの基本方針を踏まえて、管理計画の内容を実施します。また、設備専門スタッフが、安全性の確保と異常の早期発見に努めます。管理計画と相まって施設の長寿命化に寄与するとともに、優先的に行うべき修繕に対応します。また、簡易な修繕は外注することなく自前で実施し、コストダウンを徹底します。特定建築物から一般建築物に変更による、安全性の低下や利用者サービスの低下を招かないように 34 項目の独自設備点検や法を上回る水質検査の実施など「安全」「安心」「快適」に管理します。</p>			
職員育成	<p><b>事業計画書</b> <b>(3) イ 個人情報保護等の体制と職員研修計画</b></p> <p>個人情報保護法で定める「個人情報取扱事業者」として、適正な情報収集・目的外利用の禁止等同法に定める義務規定を遵守します。指定管理業務を担う者として、「横浜市個人情報の保護に関する条例」の関係規定を遵守するとともに、4つの規程と4つのルールに基づき、個人情報の保護の重要性を認識し、個人の権利利益の侵害の防止に努めます。</p> <p>「個人情報保護研修」を実施し、遵守すべき法及び条例等の趣旨の周知を図っています。ヒヤリハット事例の共有、データの取得・保管・廃棄等について、定期的な点検や指導を行うことで、対策を推進しています。</p> <p><b>職員研修計画</b></p> <p>個人情報保護研修をはじめ、緊急時の即時対応や利用者の皆様に安全に、気持ちよく施設を利用していただくためには、施設の設置趣旨、実務の処理手順など、一定の知識と資質が求められます。そのために各種研修を計画的に実施し、職員の資質向上を図っています。</p>			
	<p><b>事業計画書</b> <b>(7) ア 収入計画の考え方</b></p> <p>・稼働率の低い時間帯に自主事業を開催します。魅力ある事業を組み入れることで施設を利用していない多くの市民に利</p>			
財務				

<p>用のきっかけをつくり、今後の利用に繋がります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登録団体への営業活動を行います。常にコミュニケーションをとることでニーズをとらえ、利用に繋がる提案、働きかけを行います。</li> <li>・予約システムの導入による利用申込の改善を行いました。幅広い世代や地域の人に利用していただくことで、稼働率の向上に繋がります。</li> </ul>			
<p><b>(7) イ 増収策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用の少ない祝日の午前の体育館の個人利用を、団体利用に変更することで利用料金収入の増収を図ります。</li> <li>・未登録団体・個人への活動場所のお試し提供</li> <li>・通信カラオケ室の有効活用のため、カラオケ以外の使用による稼働率の引き上げを行い、増収を図ります。</li> <li>・他の諸室は自主事業での活用、利用促進営業活動を行い、増収を図ります。</li> <li>・稼働率の低い時間帯の広報に努め、部屋予約システムの利便性により新規開拓を行います。また、自主事業を開催し、新規だけではなく既存団体にも積極的な提案をし、増収を図ります。</li> <li>・当日に限り、空き部屋があれば希望に応じて1時間ごとの延長・前倒し利用による増収を図ります。</li> </ul> <p>上記事業内容や実施方法を工夫することで、令和6年度見込の3%増の3,677,000円を目標とします。</p>			
<p><b>(7) ウ 支出計画</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者アンケートやご意見箱等で得た地域のニーズに応えたサービスを心がけ、ニーズ対応費を積極的に活用して、利用者サービスの充実を図ります。</li> <li>・安心して施設を利用できるよう引続き感染症対策に努めます。</li> <li>・安全性や利便性向上の観点から、旧式用具（鉄パイプ折畳椅子等）の取扱いを見直し、現状に合った更新をしていきます。</li> <li>・複数の施設を運営している法人のスケールメリットを活かし、経理や庶務・労務事務、設備保全計画等の管理業務を一</li> </ul>			

	<p>元管理することで事務的経費の削減を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定建築物から一般建築物に変更による経費の削減を図ります。削減に伴う施設の安全性の低下や利用者サービスの低下を招かないように「安全」「安心」「快適」に管理します</li> </ul>			
	<p><b>(4) カ ニーズ対応費の使途 (地区センターのみ)</b></p> <p>ニーズ対応費は、利用料金収入の一部を利用者に還元することを目的に、利用者の利便性向上を図るために執行しています。</p> <p>利用団体の活動の成果を発表する「センターまつり」や地域住民にすてきな音楽を楽しんでいただく「クリスマスコンサート」の開催経費、また、スポーツ用具やCDラジカセ等貸出物品の購入経費として執行します。</p>			
<p>その他 (上記4つの視点以外の項目があれば追記)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標設定の視点に基づく目標を記載</li> </ul> <p>新型コロナウイルス等感染症や災害時等に利用者、スタッフ、職員が安心かつ安全に過ごせるように対応を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的感染対策の継続 「三つの密の回避」「人と人との距離の確保」「手洗い等の手指衛生」「換気」</li> <li>・感染症や熱中症対策を考慮した自主事業他イベントの開催の工夫</li> <li>・災害発生時の施設利用者への対応</li> </ul>			
<p>利用者等の意見</p>	<p>利用者等の意見の把握方法</p> <p>主な意見、要望</p>			

《自己評価》

A：計画、目標を上回って実施

B：計画、目標を保持して実施

C：計画、目標を下回って実施

※「利用者等の意見」は、計画内容及び運営目標欄に利用者等から寄せられた意見・要望を、計画内容及び運営目標に対する実績・今後の取組（改善計画）欄に意見等に対する対応を記載

令和7年度 「横浜市瀬谷地区センター」 収支予算書兼決算書

(令和7.4.1～令和8.3.31)

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	67,654,000		67,654,000		67,654,000	横浜市より
負担金	200,000		200,000		200,000	国際園芸博覧会機運醸成事業
利用料金収入	3,677,000		3,677,000		3,677,000	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	379,000		379,000		379,000	
自主事業収入	0		0		0	
雑入	1,256,000	0	1,256,000	0	1,256,000	
印刷代	216,000		216,000		216,000	
自動販売機手数料	880,000		880,000		880,000	
駐車場利用料収入	0		0		0	
その他（カラオケ使用料・預金利息等）	160,000		160,000		160,000	
<b>収入合計</b>	<b>73,166,000</b>	<b>0</b>	<b>73,166,000</b>	<b>0</b>	<b>73,166,000</b>	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>人件費</b>	<b>39,678,000</b>	<b>0</b>	<b>39,678,000</b>	<b>0</b>	<b>39,678,000</b>	
給与・賃金	36,470,000		36,470,000		36,470,000	館長・副館長・嘱託職員及び時給職員
社会保険料	2,585,000		2,585,000		2,585,000	
通勤手当	266,000		266,000		266,000	常勤職員・嘱託職員
健康診断費及びインフルエンザ予防接種補	93,000		93,000		93,000	常勤職員・時給職員
勤労者福祉共済掛金	24,000		24,000		24,000	
中小企業退職金共済掛金	240,000		240,000		240,000	
<b>事務費</b>	<b>3,189,000</b>	<b>0</b>	<b>3,189,000</b>	<b>0</b>	<b>3,189,000</b>	
旅費	34,000		34,000		34,000	出張旅費
消耗品費	1,203,000		1,203,000		1,203,000	事務消耗品費
会議賄い費及び諸費	28,000		28,000		28,000	
印刷製本費	0		0		0	
通信費	213,000		213,000		213,000	電話代・郵送料等
使用料及び賃借料	414,000	0	414,000	0	414,000	
横浜市への支払分	82,000		82,000		82,000	目的外使用料等（セグ-81,840 老福21,120）
その他	332,000		332,000		332,000	
備品購入費	240,000		240,000		240,000	
図書購入費	640,000		640,000		640,000	
施設賠償責任保険	46,000		46,000		46,000	
職員等研修費	8,000		8,000		8,000	
振込手数料	13,000		13,000		13,000	
リース料	350,000		350,000		350,000	
手数料	0		0		0	
地域協力費	0		0		0	地域イベントの協力費等
<b>事業費</b>	<b>1,356,000</b>	<b>0</b>	<b>1,356,000</b>	<b>0</b>	<b>1,356,000</b>	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	1,156,000		1,156,000		1,156,000	
国際園芸博覧会機運醸成事業	200,000		200,000		200,000	
自主事業費	0		0		0	イベントの実施
<b>管理費</b>	<b>12,581,000</b>	<b>0</b>	<b>12,581,000</b>	<b>0</b>	<b>12,581,000</b>	
光熱水費	4,117,000	0	4,117,000	0	4,117,000	
電気料金	1,261,000		1,261,000		1,261,000	
ガス料金	2,040,000		2,040,000		2,040,000	
水道料金	816,000		816,000		816,000	
清掃費	3,150,000		3,150,000		3,150,000	日常・定期清掃費
修繕費	1,600,000		1,600,000		1,600,000	
機械警備費	262,000		262,000		262,000	
設備保全費	3,452,000	0	3,452,000	0	3,452,000	
空調衛生設備保守	1,550,000		1,550,000		1,550,000	
消防設備保守	172,000		172,000		172,000	
電気設備保守	597,000		597,000		597,000	
害虫駆除清掃保守	0		0		0	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費・その他委託費	1,133,000		1,133,000		1,133,000	植栽管理・給水設備・ルート回収・ピアノ調律等、第三者評価
共益費	0		0		0	
<b>公租公課</b>	<b>5,724,000</b>	<b>0</b>	<b>5,724,000</b>	<b>0</b>	<b>5,724,000</b>	
事業所税	0		0		0	
消費税	5,724,000		5,724,000		5,724,000	
印紙税	0		0		0	
その他（法人税）	0		0		0	
<b>事務経費（計算根拠を説明欄に記載）</b>	<b>9,505,000</b>	<b>0</b>	<b>9,505,000</b>	<b>0</b>	<b>9,505,000</b>	
本部分	9,505,000		9,505,000		9,505,000	労務・経理等の本部事務経費
当該施設分	0		0		0	
<b>ニーズ対応費</b>	<b>1,133,000</b>	<b>0</b>	<b>1,133,000</b>	<b>0</b>	<b>1,133,000</b>	
<b>支出合計</b>	<b>73,166,000</b>	<b>0</b>	<b>73,166,000</b>	<b>0</b>	<b>73,166,000</b>	
<b>差引</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	

自主事業費収入				0	
自主事業費支出				0	
自主事業収支				0	

管理許可・目的外使用許可収入				0	
管理許可・目的外使用許可支出				0	
管理許可・目的外使用許可収支				0	